

太宰府市総合戦略推進委員
株式会社チェンジ代表取締役兼執行役員社長

ふくどめ ひろし
福留 大士さん



私と太宰府の関わりは、市にふるさと納税の寄附をしたことに始まる。読者の皆さまはふるさと納税という「税金の一部を自分の故郷や好きな地域に寄附すると、返礼品をもらえる制度」という認識があると思うが、大事なもう一つの側面が「自治体が集めた寄附を何に使うか」という視点である。太宰府市は市長をリーダーに、この「使い方」に工夫を凝らしている。これは、ガバメントクラウドファンディングと呼ばれ、自治体がふるさと納税で集めた寄附の使い道をより具体的にプロジェクト化し、それに共感した人たちから寄附を募る仕組みである。例えば、太宰府市は筑陽学園高校の野球やサッカーの支援、梅プロジェクトを軸とした太宰府ブランド・産業活性化、日本経済大学ウクライナ避難民学生受け入れ緊急支援といった数々の案件を成功させてきた。

これからも太宰府市のふるさと納税は活性化していくものと思うが、「ふるさと納税で集めたお金の使い方」が上手な地域として全国にその名を轟かせてほしい。

特集

【表紙関連】

文化財保存活用地域計画から見る
令和の都太宰府…………… 6～9

年末に気をつけたい！3つの安全確認
ポイント…………… 10～11

市職員の給与や勤務条件などを
お知らせします…………… 12～13

12月3日～9日は障がい者週間です
…………… 14

11・12月は県下一斉徴収強化月間です
…………… 14

新型コロナウイルスワクチンの接種に
ついて…………… 15

市からのお知らせ…………… 16～20

連載…………… 21～28

なんでも情報コーナー…………… 29～39

太宰府の文化財…………… 40

市政ニュース

友好都市との交流

ふるさと大使が友好都市・多賀城市と交流しました



多賀城市訪問の様子



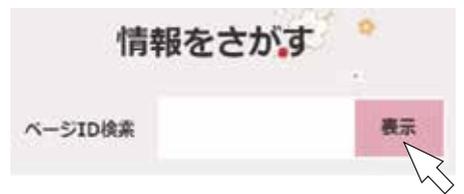
太宰府市訪問の様子

市内中学生が「ふるさと大使」として友好都市の多賀城市を訪問する「ふるさと・夢プロジェクト」を10月5日(水)～7日(金)に行いました。その後、多賀城市の中学生が10月21日(金)～23日(日)に本市を訪れ、互いに交流しました。

中学生が多賀城市との交流で学んだこと、感じたこと

- ・両市の共通点や関係性を理解し、太宰府の良さを改めて知ることができた。(学業院中 吉田集さん)
- ・両市の魅力を知ることができた。繋がりに誇りを持ちすごしていきたい。(学業院中 渡部遥名さん)
- ・太宰府市のよさを改めて感じた。多賀城市との繋がりを大切にしたい。(太宰府中 齋藤亜子さん)
- ・両市のよさをお互いに再発見することができた。今後も関係を深めたい。(太宰府中 白水蒼さん)
- ・多賀城の良さと太宰府の良さを再認識するよい機会となった。(太宰府西中 時野結人さん)
- ・離れていても歴史的な繋がりがや、人の繋がりが根強くあると感じた。(太宰府西中 吉田陽香さん)
- ・多賀城市の歴史や文化、なにより多賀城市の人達の温かさを感じた。(太宰府東中 野上日翔さん)
- ・太宰府天満宮で巫女の袴を着たり、両市の魅力を伝え合ったりできた。(太宰府東中 中島杏香さん)

記事ページをホームページで検索!



広報だざいふの記事にある最大7けたのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。

令和4年度 太宰府市功労・善行表彰式

令和4年度の太宰府市功労・善行表彰の受賞者が決定し、11月3日(木・祝)に市役所で表彰式を行いました。市政功労表彰は市政運営に尽力した人、市民表彰は地域の自治・文化・スポーツなどの振興や市民生活の向上に貢献した人、善行表彰は市民の模範となるような善行があった団体を表彰しました。



(敬称略)

市政功労表彰

(市長として8年以上)

いのうえ やすひろ
故 井上 保廣

(市議会議員として12年以上)

むらやま ひろゆき
村山 弘行

(市議会議員として12年以上)

ふじい まさゆき
藤井 雅之

市民表彰

◆市民功労賞

(自治会長として8年以上)

まつざき まさゆき
松崎 正幸

(太宰府市文化財専門委員として10年以上)

おだ ふじお
小田 富士雄

(消防団長として10年以上)

なかむら たつみ
中村 辰美

◆市民活動賞

(地域産業育成への尽力)

ふるかわ ますお
古川 増男

(社会福祉への尽力)

ながた こうじろう
永田 耕次郎

(生活環境への尽力)

あらき やすなり
荒木 靖也

(地域安全への尽力)

やました はるみ
山下 春視

おばた のぶひこ
小畑 信彦

たてくわ かずこ
立鞆 和子

うちやまだ たけとし
内山田 武利

なかつか かんじ
中塚 幹二

ながお たかし
永尾 敬

とくなが よしこ
徳永 美子

はらだ やすゆき
故 原田 保幸

すえよし みさこ
末吉 美佐子

◆市民文化賞

(教育、芸術、文化等の向上および振興)

きむら じんじ
木村 甚治

しばた えみこ
柴田 慧美子

善行表彰

◆ふるさと太宰府賞

(寄附)

株式会社日設コンサルタント

コーユーレンティア株式会社

株式会社ナッツ

株式会社小嶋建設

総合システム管理株式会社

株式会社ルネックスプロテクト

有限会社I CHI

宗教法人善隣教

姉妹都市との交流 姉妹都市扶餘郡を訪問

10月7日(金)～9日(日)、楠田市長、門田議長を始めとする一行で韓国扶餘郡を訪問しました。両市は百濟時代から深い交流があり、最初に姉妹都市を締結して44年、承継提携して10年を迎える本年、更なる交流推進のため、友好調印式と記念品の交換を行いました。

訪問では朴政賢郡守始め扶餘郡の方々との交流を深め、世界遺産の史跡群や百濟文化祭などを視察し、本市の史跡地保存活用やイベントのあり方を考える機会となりました。



調印式の様子

史跡地の保存活用 全国史跡整備市町村協議会平泉大会に出席

全国623団体が加盟する全国史跡整備市町村協議会大会が岩手県平泉町で開催され、楠田市長が全国副会長、また前回開催地首長として出席しました。

総会では更なる史跡活用を目指す史跡整備大会決議が採択され、元文化庁長官で平泉文化遺産センター名誉館長近藤誠一さんの記念講演が行われました。

平泉町には国宝中尊寺金色堂のほか、特別史跡や名勝があり、平成23年世界遺産に登録されています。史跡地保存活用の事例を知る絶好の機会となりました。



大会の様子

令和の都 令和の万葉大茶会2022鳥取大会に出席

10月15日(土)～16日(日)、令和の万葉大茶会2022鳥取大会が開催され、楠田市長や門田議長、松尾万葉会会長など訪問団が出席しました。

万葉集編さん者とされる大伴家持ゆかりの地を繋ぎ、元号令和の由来の「梅花の宴」再現や万葉衣装をまとった茶会が行われました。

来年度は本市で開催が予定され、翌年度は宮城県多賀城市、最後は奈良県明日香村にて開催し、大阪万博につなげていく構想です。

式典では鳥取県平井伸治知事、鳥取市深澤義彦市長から次回開催地の楠田市長へ鳥取漆器製の木簡型の大会キーの伝達が行われました。



万葉大茶会の様子

団体からの寄附 明治安田生命保険相互会社から「私の地元応援募金」寄附をいただきました

明治安田生命保険相互会社は2020年度から地域社会に元気を届ける「地域の元気プロジェクト」を展開しています。その一環で「私の地元応援募金」として寄附をいただきました。

贈呈式で生井理事福岡支社長は「皆さんが愛し誇りに思う地元がさらに元気で満ちあふれますように」と述べ、楠田市長に目録を渡しました。

同社からはこれまで本市の新型コロナウイルス感染症対策事業などへの寄附や、昨年度の包括連携協定締結など、多大な支援をいただいています。



寄附贈呈式の様子